

竹山博英教授 略歴 主要著書・論文目録

略歴

- 1948年10月25日 東京で生まれる
- 1973年3月 東京外国語大学イタリア語学科卒業
- 1978年3月 東京外国語大学大学院言語科学研究科博士課程前期課程修了
- 1996年4月 立命館大学文学部教授

学位

- 博士（文学・立命館大学）2008年

受賞歴

- マルコ・ポーロ賞（2005年）
- イタリア連帯の星褒章（2006年）

著書

- 『シチリア 神々とマフィアの島』（朝日新聞社、1985年）
- 『マフィア』（朝日新聞社、1988年）
- 『マフィア・その神話と現実』（講談社、1991年）
- 『マフィア戦争』（集英社、1991年）
- 『シチリアの春』（朝日新聞社、1994年）
- 『ローマの泉の物語』（集英社、2004年）
- 『イタリアの記念碑墓地』（言叢社、2007年）
- 『プリーモ・レーヴィ アウシュヴィッツを考え抜いた作家』（言叢社、2011年）

翻訳

- プリーモ・レーヴィ 『アウシュヴィッツは終わらない』（朝日新聞社、1980年）
- イタロ・カルヴィーノ他 『現代イタリア幻想短編集』（国書刊行会、1984年）
- フェデリコ・フェリーニ 『フェリーニ、映画を語る』（筑摩書房、1985年）
- カルロ・ギンズブルグ 『ベナンダンティ』（せりか書房、1986年）
- レオナルド・シャーシャ 『真昼のふくろう』（朝日新聞社、1987年）
- ベルナルド・ベルトルッチ 『ベルトルッチ、クライマックス・シーン』（筑摩書房、1989年）
- カルロ・ギンズブルグ 『闇の歴史』（せりか書房、1992年）
- プリーモ・レーヴィ 『周期律』（工作舎、1992年）
- プリーモ・レーヴィ 『今でなければいつ』（朝日新聞社、1992年）
- カルロ・ギンズブルグ 「ヨーロッパ人、シャーマンを（再）発見する」（『思想』1993年4月号）

- カルロ・ギンズブルグ「闇の歴史—魔女とシャーマン」(『思想』1993年4月号)
カルロ・ギンズブルグ「ミクロストリアとはなにか」(『思想』1993年4月号)
ガヴィーノ・レッダ『父・パードレ・パドロネ』(朝日新聞社、1995年)
エンツォ・スペーラ「イタリアの5月柱祭」(『ヨーロッパの祝祭』所収、河出書房、1996年)
フェデリコ・フェリーニ『映画監督という仕事』(筑摩書房、1996年)
プリーモ・レーヴィ『休戦』(朝日新聞社、1998年／岩波書店、2010年)
ゲルトルート・ビング「イタリア語版『ヴァールブルク著作集』への序文」(『ヴァールブルク学
派』所収、平凡社、1998年)
ルチャーノ・カンフォラ『アレキサンドリア図書館の謎』(工作舎、1999年)
ジュセッペ・アヤーラ『マフィアとの死闘』(NHK出版、2000年)
プリーモ・レーヴィ『溺れるものと救われるもの』(朝日新聞社、2000年)
カルロ・ギンズブルグ『ピノッキオの眼』(せりか書房、2001年)
レオナルド・シャーシャ「マフィア」(『立命館文学』620号、2011年2月)

論文

- 「タルケッティとゴシック小説」(『城と眩暈、ゴシックを読む』所収、国書刊行会、1992年)
「組み合わせとしての文学」(『ユリイカ』1985年9月号)
「南部の山賊たち」(『世紀末の美と夢』所収、集英社、1986年)
「歴史と民衆の文化」(『現代思想』1986年7月号)
「タランティズモ」(『象徴図像研究』I号、1987年)
「迷宮としての小説」(『すばる』1988年1月号)
「カラブリアの誘拐マフィア」(『マージナル』Vol.4、1989年11月)
「振り子は揺れる、二つの懐疑の間を」(『ユリイカ』1989年5月号)
「コクッロの蛇祭り」(『象徴図像研究』III号、1989年)
「旅する劇団と即興喜劇」(『世界の歴史』74号所収、朝日新聞社、1990年)
「広場が生んだ役者たち」(『世界の歴史』74号所収、朝日新聞社、1990年)
「聖ヨセフ祭」(『世界の旅の歴史』7号所収、朝日新聞社、1992年)
「南イタリアの親族関係と組織犯罪」(『日伊文化研究』32号、1994年)
「イタリア・右派の新秩序」(『現代思想』1994年7月号)
「混沌の力」(『ユリイカ』1994年9月号)
「大岡昇平とコルシカ」(『ユリイカ』1994年11月号)
「タヴィアーニ兄弟と羊飼いの世界」(『日伊文化研究』33号、1995年)
「イスラムとシチリア」(『現代思想』1995年6月)
「チェラーティの変貌」(『ユリイカ』1998年1月号)
「フェリーニと家・家族」(『日伊文化研究』37号、1999年)
「イタリアの都市墓地」(『石』vol. 23、全優石事務局、2001年3月)
「強制収容所と文学」(『岩波講座 文学』9所収、岩波書店、2002年)
「泉とアレゴリー」(『神話・象徴・イメージ：Hommage a Kosaka Maeda』所収、原書房、2003年)
「イタリア・都市墓地の成立」(『地中海研究所紀要』3号、2005年)

「イタリア 近・現代の墓碑」(『地中海研究所紀要』7号、2009年)

「弔の形」(『戦いと弔い研究会報告書』1号、2009年)

研究会発表

「ジャパニメーションと暴力 — 外部の敵と内部の敵」(1999年度日本平和学会、1999年11月)

「異化と象徴 — ギンズブルグをめぐる」(2001年度イタリア学会、2001年11月)

